

予算	会計		後期特会		予算区分		現年	
	款	03 諸支出金	項	01 償還金及び還付加算金	目	01 保険料還付金		
事業名	保険料還付金		担当課	市民課		予算書頁	P12	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,000千円	1,000千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,000千円		0千円		
【事業の目的】 被保険者の死亡・転出や、市県民税の更正等によって生じる過年度賦課分保険料の還付を行う。								
【事業の概要】 ○償還金、利子及び割引料 1,000千円								
[財源内訳] ○保険料還付金 1,000千円								
[主な内容] ①保険料還付金 現年度保険料に生じる還付は歳入予算から還付するが、過年度賦課分に生じる還付は歳出予算から還付する。 過年度分市県民税の遡及した更正や、相続人からの還付請求の遅れ(時効2年)等による。								

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01 水道事業費用	項	01 営業費用	目	01 原水及び浄水費		
事業名	原水及び浄水費		担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
90,685千円	89,189千円		1,496千円		1.7%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		429千円		90,256千円		
【事業の目的】 安心できれいな水を供給するため取水に係る設備等の維持管理をし、安定した供給を図る。								
【事業の概要】 ○報償費 80千円 ○備用品費 92千円 ○燃料費 9千円 ○光熱水費 17千円 ○通信運搬費 663千円 ○委託料 23,656千円 ○賃借料 719千円 ○修繕費 4,927千円 ○動力費 58,396千円 ○薬品費 1,177千円 ○負担金 859千円 ○保険料 90千円								
[財源内訳] ○他会計補助金 429千円								
[主な内容] ①原水及び浄水処理に必要な費用の支払い事務 取水した水の水質検査や各浄水施設の機械設備修繕等を行う。								

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費
事業名	配水及び給水費		担当課	上下水道課		予算書頁	P5		
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
65,005千円	66,113千円		△ 1,108千円		△ 1.7%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		2,907千円		62,098千円			

【事業の目的】

安心できれいな水を供給するため配水池、配水管等の維持管理をし、安定した供給を図る。

【事業の概要】

○給料	5,730千円	○手当	2,340千円
○法定福利費	1,421千円	○報償費	87千円
○備用品費	294千円	○燃料費	276千円
○光熱水費	8,160千円	○通信運搬費	3,552千円
○委託料	23,615千円	○手数料	116千円
○賃借料	1,591千円	○修繕費	15,724千円
○材料費	473千円	○公課費	38千円
○保険料	163千円	○退職手当負担金	615千円
○賞与引当金繰入額	667千円	○法定福利費引当金繰入額	143千円

[財源内訳]

○他会計負担金 2,907千円

[主な内容]

①配水に必要な費用の支払い事務
配水池、配水管等の維持管理のために洗管作業、漏水調査及び漏水修繕等の維持管理を行う。

②片瀬配水池不断水清掃業務委託 【新規】 [950千円]
水道施設を良好に保つため、配水池の清掃を行う。

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
修繕件数(件)	157	185	193	199	170
有収率(%)	81.99	81.25	81.44	-	-

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	03	受託工事費
事業名	受託工事費		担当課	上下水道課		予算書頁	P5		
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
250千円	250千円		0千円		0.0%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		250千円		0千円			

【事業の目的】

安心できれいな水を供給するため給水装置の新設又は修繕等の受託工事に関する費用を支出する。

【事業の概要】

○修繕費 250千円

[財源内訳]

○受託工事収益 250千円

[主な内容]

①受託工事
給水装置の新設又は修繕等の受託工事に関する費用を支出する。

予算	会計		水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	04	総係費
事業名	総係費			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
44,861千円		42,015千円		2,846千円		6.8%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		8,836千円		36,025千円			
【事業の目的】									
安心できれいな水を供給するため事業活動全般に関連する必要な諸経費を支出し、水道事業の健全な基盤の確立に努める。									
【事業の概要】									
○給料	11,374千円		○手当	5,531千円					
○報酬	714千円		○法定福利費	3,380千円					
○旅費	98千円		○備用品費	350千円					
○光熱水費	355千円		○印刷製本費	884千円					
○通信運搬費	1,712千円		○委託料	12,677千円					
○手数料	2,526千円		○賃借料	738千円					
○修繕費	20千円		○負担金	128千円					
○保険料	450千円		○退職手当負担金	1,876千円					
○賞与引当金繰入額	1,612千円		○法定福利費引当金繰入額	319千円					
○貸倒引当金繰入額	117千円								
【財源内訳】									
○他会計負担金	8,836千円								
【主な内容】									
①料金算定を実施するため等の支払い事務 メーター検針、料金算定・徴収等に必要な事務を行う。									
②上下水道料金制度審議会の開催 【新規】[708千円] 上下水道事業の経営状況を確認し、適正な料金使用料水準について審議いただくため、料金制度審議会を開催する。									

予算	会計		水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	05	減価償却費
事業名	減価償却費			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
247,370千円		253,772千円		△ 6,402千円		△ 2.5%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		247,370千円			
【事業の目的】									
損益勘定留保資金として資本的収支の不足に対する補てん財源とする。									
【事業の概要】									
○有形固定資産減価償却費	232,067千円								
○無形固定資産減価償却費	15,303千円								
【財源内訳】									
○-									
【主な内容】									
①減価償却事務 前年度までに取得した固定資産の減価償却を実施する。									
減価償却費 (円)									
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)				
固定資産減価償却費	276,064,257	266,446,003	262,566,837	254,421,819	247,369,237				

予算	会計		水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	06	資産減耗費
事業名	資産減耗費			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
13,648千円	6,200千円		7,448千円		120.1%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		13,648千円			
【事業の目的】 固定資産の廃棄に伴う残存価値を除却する。									
【事業の概要】 ○固定資産除却費 13,505千円 ○棚卸資産減耗費 143千円									
【財源内訳】 ○-									
【主な内容】 ①資産除却事務 当年度廃棄した資産の残存価値分を除却する。									

予算	会計		水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	水道事業費用	項	02	営業外費用	目	01	支払利息及び企業債取扱諸費
事業名	支払利息及び企業債取扱諸費			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
25,345千円	27,261千円		△1,916千円		△7.0%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		4,430千円		20,915千円			
【事業の目的】 企業債、他会計からの借入金、一時借入金等にかかる利息を支出する。									
【事業の概要】 ○企業債利息 25,345千円									
【財源内訳】 ○他会計負担金 4,329千円 ○他会計補助金 101千円									
【主な内容】 ①償還利子支払事務 遅滞することなく適切に支払う。									

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	水道事業費用	項	02	営業外費用	目	03	雑支出
事業名	雑支出			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
8,928千円		6,143千円		2,785千円		45.3%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		8,928千円			
<p>【事業の目的】 営業活動以外で発生する費用について支出する。</p> <p>【事業の概要】 ○雑支出 8,928千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①雑支出 他会計負担金や国庫補助金等の特定収入に係る消費税等を適切に支払う。</p>									

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	水道事業費用	項	04	特別損失	目	04	過年度損益修正損
事業名	過年度損益修正損			担当課	上下水道課		予算書頁	P5	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
500千円		500千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		500千円			
<p>【事業の目的】 過去の年度に属する支出を処理する。</p> <p>【事業の概要】 ○過年度損益修正損 500千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①還付事務 漏水減免による過年度分の水道料金を適切に還付する。</p>									

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02
事業名	改良工事費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
198,560千円	229,971千円		△ 31,411千円		△ 13.7%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
28,462千円		149,900千円		8,983千円		11,215千円		

【事業の目的】

水道管布設替え及び機械設備の更新等を行う。

【事業の概要】

○給料	7,549千円	○手当	3,365千円
○法定福利費	2,088千円	○備用品費	746千円
○燃料費	63千円	○委託料	7,326千円
○工事請負費	165,374千円	○負担金	9,545千円
○退職手当負担金	1,246千円	○賞与引当金繰入額	1,049千円
○法定福利費引当金繰入額	209千円		

[財源内訳]

○社会資本整備総合交付金	28,462千円	○水道事業債	149,900千円
○他会計負担金	4,240千円	○他会計出資金	4,743千円

[主な内容]

- ①改良工事（既設設備等の更新）
各施設の設備更新工事、消火栓更新・移設工事等を実施する。
- ②重要給水施設への配水管の耐震化工事
災害時等でもライフラインである上水道を安定的に供給するため、重要給水施設までの配水管を耐震管に布設替える。

重要給水施設配水管耐震化の実績及び計画 (m)

年度	施行箇所	施行延長
R4	片瀬配水池～元禄線とバイパスのT字路	559
R5	元禄線とバイパスのT字路～ジオアリーナ	586
R6	クリニカ・デ・ふかや～ケイテークシーノ、ジオアリーナ～長山トンネル	1,480
R7	長山トンネル～福井勝山総合病院	400
R8	長山交差点～木下医院、ケイテークシーノ～片瀬配水池	1,254
R9	平泉寺配水池～わかばやレクリニク、聖丸配水池～たけとう病院	1,984

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	03
事業名	機械及び装置		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
3,462千円	4,014千円		△ 552千円		△ 13.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		1,208千円		2,254千円		

【事業の目的】

計量法に基づく検定期間満了交換用の量水器の購入に係る費用

【事業の概要】

○機械及び装置	3,462千円
[財源内訳]	
○他会計負担金	1,208千円

[主な内容]

- ①検定期間満了交換用メーター、新設メーター等の購入
検定期間満了取替及び新設メーター等を購入する。

メーター購入

(個)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
購入個数	1,250	814	1,170	1,165	927

予算	会計		水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	資本的支出	項	02	企業債償還金	目	01	企業債償還金
事業名	企業債償還金			担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
177,663千円		170,066千円		7,597千円		4.5%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		37,447千円		140,216千円			

【事業の目的】

水道事業実施に係る財源として借り入れた起債の元金償還を実施する。

【事業の概要】

○企業債償還金 177,663千円

[財源内訳]

○資本費繰入収益 36,346千円
 ○他会計負担金 664千円
 ○出資金 437千円

[主な内容]

①償還元金支払事務
 遅滞することなく適切に支払をする。

償還額及び企業債残高

(円)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
償還額	175,467,896	181,156,672	170,255,135	178,064,619	177,662,138
企業債残高	2,092,190,105	2,083,133,433	2,074,478,298	2,088,013,679	2,060,251,541

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	污水管渠費
事業名	污水管渠費			担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
52,285千円		39,654千円		12,631千円		31.9%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
14,520千円		0千円		0千円		37,765千円			

【事業の目的】

公共下水道及び農業集落排水の管渠、ポンプ等の維持管理を実施し、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。

【事業の概要】

○賞与引当金繰入額	668千円	○法定福利費引当金繰入額	135千円
○法定福利費	724千円	○備用品費	168千円
○燃料費	103千円	○通信運搬費	694千円
○委託料	37,540千円	○手数料	47千円
○賃借料	264千円	○修繕費	4,900千円
○動力費	2,482千円	○材料費	3,423千円
○保険料	341千円	○公課費	14千円
○退職手当負担金	782千円		

[財源内訳]

○社会資本整備総合交付金 14,520千円

[主な内容]

①下水道管渠等の維持管理業務
 マンホールの修繕及びマンホール周りの舗装修繕、下水道管渠清掃業務委託を行う。

修繕件数

(件)

	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)
マンホール修繕等	26	21	15	24	20

②下水道管渠調査業務委託

法定耐用年数を超過する下水道管渠の更新計画作成に必要な現状調査を実施する。

予算	会計		下水道事業会計		予算区分	現年		
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	02
事業名	雨水管渠費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
23,428千円		714千円		22,714千円		3,181.2%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
11,347千円		0千円		12,081千円		0千円		
【事業の目的】 雨水調整池等の維持管理を実施し、市民の安全・安心な生活を確保する。								
【事業の概要】 ○燃料費 52千円 ○委託料 22,693千円 ○賃借料 257千円 ○修繕費 250千円 ○動力費 172千円 ○保険料 4千円								
【財源内訳】 ○社会資本整備総合交付金 11,347千円 ○他会計負担金 12,081千円								
【主な内容】 ①下水道雨水に係る維持管理業務 市民の安全・安心な生活を確保するため、調整池等の維持管理を行う。 ②内水浸水想定区域図作成業務委託 浸水実績や被害の恐れのある排水区域において内水浸水想定区域図を作成する。								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分	現年		
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	03
事業名	処理場費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)		
255,660千円		257,669千円		△2,009千円		△0.8%		
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
10,000千円		0千円		0千円		245,660千円		
【事業の目的】 勝山浄化センターや農業集落排水処理施設の管理運営を実施し、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。								
【事業の概要】 ○報償費 16千円 ○備用品費 60千円 ○燃料費 5千円 ○光熱水費 52千円 ○通信運搬費 145千円 ○委託料 237,256千円 ○手数料 101千円 ○賃借料 244千円 ○修繕費 6,307千円 ○動力費 10,307千円 ○薬品費 911千円 ○材料費 6千円 ○保険料 250千円								
【財源内訳】 ○社会資本整備総合交付金 10,000千円								
【主な内容】 ①勝山浄化センター等運転維持管理業務包括委託 勝山浄化センター及び汚水中継ポンプ所の運転維持管理のための包括委託を行う。 (令和8年度までの債務負担行為) ②農業集落排水処理施設維持管理業務等 農業集落排水処理施設の維持管理のための委託や修繕を行う。 ③公共下水道施設再構築基本設計(ストックマネジメント計画策定)業務委託 公共下水道施設の長寿命化を図り、計画的かつ効率的に改築更新を行うための計画を策定する。令和7年度は、令和6年度の点検・調査計画に基づき対象施設の点検・調査を実施し、令和8～12年度のストックマネジメント計画を策定する。								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	04
事業名	受託工事費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
400千円	400千円		0千円		0.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		400千円		0千円		
【事業の目的】 公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図るため、排水設備の受託工事に関する費用を支出する。								
【事業の概要】 ○工事請負費 400千円								
[財源内訳] ○受託工事収益 400千円								
[主な内容] ①受託工事 排水設備の受託工事に関する費用を支出する。								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	05
事業名	総係費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
26,715千円	33,303千円		△6,588千円		△19.8%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		26,715千円		
【事業の目的】 公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図るため、事業活動全般に関連する必要な諸経費を支出し、下水道事業の健全な基盤の確立に努める。								
【事業の概要】								
○給料	3,457千円	○手当			○手当	1,840千円		
○賞与引当金繰入額	1,076千円	○法定福利費引当金繰入額			○法定福利費引当金繰入額	214千円		
○法定福利費	2,254千円	○報償費			○報償費	271千円		
○備用品費	460千円	○光熱水費			○光熱水費	254千円		
○印刷製本費	350千円	○通信運搬費			○通信運搬費	175千円		
○委託料	306千円	○手数料			○手数料	1,366千円		
○賃借料	1,039千円	○負担金			○負担金	12,132千円		
○貸倒引当金繰入額	266千円	○退職手当負担金			○退職手当負担金	1,252千円		
○補助金	3千円							
[財源内訳]								
[主な内容] ①下水道事業の運営に係る経費 使用料徴収事務や受益者負担金等徴収事務など下水道事業の運営にかかる事務的な経費を適切に支出する。								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	06 減価償却費
事業名	減価償却費		担当課		上下水道課		予算書頁	P6
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
592,898千円	598,483千円		△ 5,585千円		△ 0.9%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		592,898千円		
<p>【事業の目的】 損益勘定留保資金として資本的収支の不足に対する補てん財源とする。</p> <p>【事業の概要】 ○有形固定資産減価償却費 592,898千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①減価償却事務 前年度までに取得した固定資産の減価償却を実施する。</p>								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	07 資産減耗費
事業名	資産減耗費		担当課		上下水道課		予算書頁	P6
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
9,480千円	8,106千円		1,374千円		17.0%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		0千円		9,480千円		
<p>【事業の目的】 固定資産の廃棄に伴う残存価値を除却する。</p> <p>【事業の概要】 ○固定資産除却費 9,480千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①資産除却事務 当年度廃棄した資産の残存価値分を除却する。</p>								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	下水道事業費用	項	02	営業外費用	目	01	支払利息及び企業債取扱諸費
事業名	支払利息及び企業債取扱諸費		担当課	上下水道課		予算書頁	P6		
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
70,916千円		73,000千円		△ 2,084千円		△ 2.9%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		70,496千円		420千円			
【事業の目的】 下水道事業債、他会計からの借入金、一時借入金等にかかる利息を支出する。									
【事業の概要】 ○企業債利息 70,496千円 ○一時借入金利息 420千円									
[財源内訳] ○他会計負担金 70,496千円									
[主な内容] ①償還利子支払事務 遅滞することなく適切に支払う。									
支払利息 (円)									
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)				
企業債利息	89,915,265	81,758,299	75,396,345	69,941,849	70,494,813				

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	下水道事業費用	項	02	営業外費用	目	03	雑支出
事業名	雑支出		担当課	上下水道課		予算書頁	P6		
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
45,966千円		35,082千円		10,884千円		31.0%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		45,966千円			
【事業の目的】 営業活動以外で発生する費用について支出する。									
【事業の概要】 ○その他雑支出 45,966千円									
[財源内訳] ○-									
[主な内容] ①雑支出 他会計負担金や国庫補助金等の特定収入に係る消費税等を適切に支払う。									

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	下水道事業費用	項	04	特別損失	目	04	過年度損益修正損
事業名	過年度損益修正損		担当課	上下水道課		予算書頁	P6		
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
520千円	9,490千円		△ 8,970千円		△ 94.5%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		520千円			
<p>【事業の目的】 過去の年度に属する支出を処理する。</p> <p>【事業の概要】 ○過年度損益修正損 520千円</p> <p>[財源内訳] ○-</p> <p>[主な内容] ①還付事務 漏水減免による過年分の下水道等使用料を適切に還付する。</p>									

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年		
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	01	污水管渠建設改良費
事業名	污水管渠建設改良費		担当課	上下水道課		予算書頁	P7		
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)				
68,870千円	89,441千円		△ 20,571千円		△ 23.0%				
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
26,402千円		42,400千円		0千円		52千円			
<p>【事業の目的】 下水道管渠の整備・更新・長寿命化対策を進め、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。</p> <p>【事業の概要】 ○給料 3,399千円 ○工事請負費 65,471千円</p> <p>[財源内訳] ○社会資本整備総合交付金 26,402千円 ○下水道事業債 42,400千円</p> <p>[主な内容] ①汚水中継ポンプ所電気設備工事及びポンプ取替工事 松田第1、伊波第1汚水中継ポンプ所の制御盤及び五本寺第1汚水中継ポンプ所のポンプを取り替える。 ②下水管渠更生工事 滝波幹線の下水管渠の更新を行う。 ③汚水柵設置及び取付管工事 新築箇所に汚水柵を設置する。 ④その他の工事 各ポンプ所の遠方監視システム通信更新工事等を行う。</p>									

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02
事業名	雨水管渠建設改良費		担当課	上下水道課		予算書頁	P7	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
22,800千円	5,250千円		17,550千円		334.3%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
0千円		0千円		22,800千円		0千円		
【事業の目的】								
市民の生命、財産を守るため、大雨による浸水被害の軽減を図る。								
【事業の概要】								
○給料	1,290千円							
○委託料	2,590千円							
○工事請負費	18,920千円							
[財源内訳]								
○他会計出資金	22,800千円							
[主な内容]								
①マンホールポンプ所整備 【新規】 [21,510千円(他21,510千円)]								
昭和町2丁目地係で発生する内水氾濫に対応するため、マンホールポンプ所整備実施設計業務委託及びマンホールポンプ所整備工事を行う。								

予算	会計		下水道事業会計		予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	03
事業名	処理場建設改良費		担当課	上下水道課		予算書頁	P7	
R7当初予算額(A)	R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
542,085千円	385,894千円		156,191千円		40.5%			
予算額の財源内訳								
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)		
257,000千円		285,000千円		0千円		85千円		
【事業の目的】								
勝山浄化センター及び農業集落排水処理施設の改築更新を進め、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。 また、勝山浄化センター内における汚泥受入施設の建設により、汚泥処理の共同化を図る。								
【事業の概要】								
○給料	11,852千円							
○手当	8,480千円							
○賞与引当金繰入額	1,092千円							
○法定福利引当金繰入額	221千円							
○法定福利費	2,922千円							
○委託料	514,000千円							
○工事請負費	2,250千円							
○退職手当負担金	1,268千円							
[財源内訳]								
○社会資本整備総合交付金	257,000千円							
○下水道事業債	285,000千円							
[主な内容]								
①農業集落排水処理施設の設備更新 勝山東部地区、勝山西部地区の処理施設の機械設備の取り替え、更新を行う。								
②勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事(土木・建築)業務委託 事業費 370,000千円 令和8年度までの債務負担行為を設定								
③勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事(機械・電気設備)業務委託 【新規】 [144,000千円(国72,000千円 債72,000千円)] 令和8年度までの債務負担行為を設定								

予算	会計		下水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	04	機械及び装置
事業名	機械及び装置			担当課	上下水道課		予算書頁	P7	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
1,200千円		565千円		635千円		112.4%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		0千円		1,200千円			

【事業の目的】

計量法に基づく検定期間満了交換用の量水器の購入に係る費用

【事業の概要】

○機械及び装置 1,200千円

[財源内訳]

○-

[主な内容]

①メーターの購入
検定満了に伴う交換用メーターを購入する。

メーター購入	(個)					
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
購入個数	82	82	135	132	189	

予算	会計		下水道事業会計			予算区分		現年	
	款	01	資本的支出	項	02	企業債償還金	目	01	企業債償還金
事業名	企業債償還金			担当課	上下水道課		予算書頁	P7	
R7当初予算額(A)		R6当初予算額(B)		増減額(C)=(A)-(B)		増減率(D)=(C)/(B)			
444,336千円		460,086千円		△15,750千円		△3.4%			
予算額の財源内訳									
国・県(E)		市債(F)		その他(G)		一般財源(A-E-F-G)			
0千円		0千円		300,601千円		143,735千円			

【事業の目的】

下水道事業実施に係る財源として借り入れた起債の元金償還を実施する。

【事業の概要】

○企業債償還金 444,336千円

[財源内訳]

○他会計負担金 300,601千円

[主な内容]

①償還元金支払事務
遅滞することなく適切に支払をする。

償還額	(円)					
	R3	R4	R5	R6(見込)	R7(予算)	
償還額	451,543,642	460,882,468	457,891,380	460,084,390	444,334,322	
企業債残高	6,237,499,011	5,999,016,543	5,715,625,163	5,620,540,773	5,503,606,451	